

イベントの名称について

金田 倍視 議員

■議員 甘楽町の各種イベントには、近年、町外からも多くの参加者、観光客が訪れています。先人の功績により、大いに発展し毎年NHKのニュースに取り上げられるもので色々育てて頂きました。

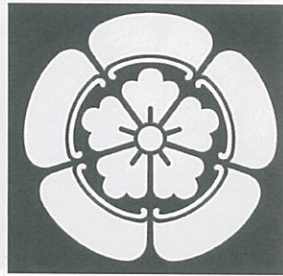
そこで、イベントの名称に「かんら」や町を象徴する名前を付けることが、町外に対して甘楽町の一層のイメージアップになり、大きな宣伝効果を発揮すると思われまます。例えば、さくら祭りの中の「かんらマラソン」、「織田信雄公武者行列」とか「織田家8代武者行列」また「かんら産業文化祭」等々の名称が、町外発信には効果的かと思慮され

ますが、いかがでしょうか。

■町長 現在、町で実施している多くのイベントの名称に「甘楽町」か「甘楽」、または「かんら」を使用しています。「甘楽」は、唯一無二の地名で、「甘楽」または「かんら」、どちらも町を象徴する名称です。今後町名を大切にして、イベントだけでなく様々な事業に「甘楽」の名称を使用していきたいと考えています。また、「甘楽」を読めない人もいますので、その場合はルビを付けることも検討します。

甘楽町まち・ひと・しごと総合戦略でも観光キャンペーン事業により町の知名度・認知

度を上げる取り組みを実施しています。今後多くのイベントを通じて「甘く楽しい甘楽町」を広く周知して町のイメージアップに努めます。



ボランティア活動の功績を表彰する制度の創設を

富岡 朝男 議員

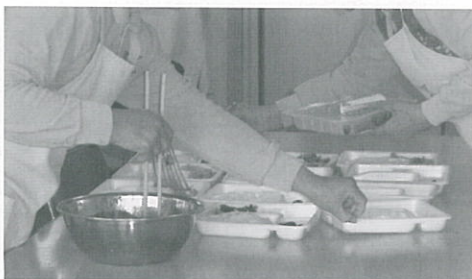
■議員 社会の円熟や少子高齢化及び福祉施設の充実等により、町内ではボランティア活動が活発に行われるようになりました。「住みたい町」「住んでよかった町」の実現のためには更にボランティア活動が活発になる必要があるのではないのでしょうか。町や社会福祉法人が行う事業や行事及び町有施設の管理等のボランティア活動について質問します。

- ① ボランティアのグループ数及び人数。
- ② ボランティア活動中の事故等に対する保障はどうなっているか。
- ③ 活動の功績を表彰する制度の創設の考えはどうか。

■町長 ①主なボランティアとして、福祉関係では11グループ239人。環境ボランティアに約1100人。楽山園友の会、大手門ボランティアに100人以上。各小中学校で200人以上。

- ②全国社会福祉協議会のボランティア活動保険、学校支援センターボランティア保険、全国町村会総合賠償保障保険にそれぞれ加入しています。
- ③「甘楽町表彰条例」及び「甘楽町総合表彰規程」により表彰を行っています。他の分野との年数によるバランス等もあり、ボランティアの皆さんはこの期間を短縮して町の「甘楽町善行者等感謝状贈呈規程」により、まずは感謝状

の贈呈を行い、その後には表彰を行いたいと思います。現在、新たな制度の創設は考えていません。



織田公公園 整備計画について

中野 喜久勇 議員

■議員 2月の議員全員協議会で発表された標記整備計画について次のおり質問いたします。

①実施事業年度はいつか。(着工から完成までの期間)

②用地の買収面積はどの位で、全体の面積はどのくらいか。

③全体の事業費用について、補助事業で実施すると思うが補助金と一般財源の割合と概ねの金額。

④投資効果について。

⑤完成後の管理についてはどうするのか。以上について町の考え方を伺います。

■町長 ①平成28年度から平成31年度までの計画です。②買収面積7258

m、全体の面積1万3000m²。

③全体事業費を約1億6500万円です。このうち

国からの交付金は事業費の45%、7425万円、一般財

源が9075万円です。④定量的指標の

目標値は設けておらず、歴史・文化遺産を

活かしたまちづくりを推進し、他の施設との回遊性を高めることを目標としていま

す。⑤町で管理を行い、シルバー人材センター等への委託を検



討したいと思います。

織田公公園を楽山園と並ぶ織田宗家の遺構として観光拠点とし、

町民の皆さんはもとより、多くの人に甘楽町を訪れてもらい、活力

ある町づくりに繋げていきたいと考えています。

耕作放棄地について

山崎 澄子 議員

■議員 耕作放棄地は解消されず増加しているように見受けられ最近では構造改善地区にも広がってきています。これらの土地は鳥獣の棲家、害虫の発生にはこのうえもない場所と思われま

す。放棄地が増加することで懸念される事とは

*登下校の児童生徒、散歩中の住民に人的被害がでないか。

*被害農地拡大で収量が減少し農業経営に影響しないか。

以上懸念される諸々の問題を減らしていくことが急務と思います。現在の町の取り組みとして

①鳥獣害対策の実施状況は、どうなっていますか。
②新規就農事業の進捗

状況。
③今後予定している新規事業はありますか。以上お伺いいたします。

■町長 ①鳥獣被害対策実施隊により前年度を上回る数のイノシシなどを駆除しています。1月には、関係者の皆さんと協議を重ね、防護柵を設置する案がまとまり、来年度、

国の鳥獣被害防止総合対策事業を活用し、小幡地区に防護柵を設置すべく、取り組みを進めています。

②今年度、新規就農者として新たに2人が国から認定され、現在は3人です。今後も「人・

農地プラン」の推進等により、新規就農者の発掘に努めます。

③地域農業再生協議会に荒廃農地解消対策部会の設置を提案しました。来年度以降、低

利用農地いわゆる2号遊休農地を対象とした「遊休農地一斉耕起の日」を設定し、地域ぐるみで耕作放棄地を解消する取り組みに努めていく予定です。



交通安全対策について

山田 邦彦 議員

■議員 『町の宝』である子どもたちは全国で10年間に1040人が犠牲となりました。

その約半数(504人)が「歩行中」です。(自転車運転中の2倍以上)

そこで、①子どもたちが万一被害にあってもより軽く済むように子どもたちに(歩行者でも)ヘルメットの配布を行い、着用をさせる。②子どもたちが「加害者」とならないように「自転車の検定・免許制度」を作る。もれなく(自転車の)保険に入るようにする。③カーブミラーの保守・管理の仕方・見えづらいつらミラーの「蘇生」法・老朽化などで機能が落ちたミラーの交換時期とそのプロセス。

曇らないカーブミラーの設置状況はどうなっていますか。

■町長 ①現段階ではヘルメットの配布、着用させる考えはありません。②各小学校では、富岡警察署、交通指導員の協力による交通安全教室を実施しています。

富岡警察署、交通指導員の協力による交通安全教室を実施しています。現段階では自転車の検定、免許制度を作る考えはありませんが操作に慣れていない児童には、今後也十分注意するよう指導していきます。また、町では任意ですが県小中学生総合保険制度の加入促進を行っています。③保守・管理は、交通安全協会や地域住民の皆様により道路清掃時などに併せて実施していただいております。



どは洗剤等で除去するほか歪み等は鏡面交換を行います。機能が落ちたミラーは、各区長からの連絡のもとに状況判断のうえ対応します。曇らないカーブミラーは、現在試験的に福島地区2か所に設置しています。

社会教育団体制度(仮称)の導入を

山田 邦彦 議員

■議員 公の施設の貸借料は、営利を目的とする者や会員同士の親睦のみを行う者以外は基本的にすべて無料とするのが基本と思っています。ぜひ実施をしたいと思います。

●住民に広く開かれている ●事務は、行政機関等に依存しないなどが考えられます。

「社会教育団体制度」(仮称)を作り、登録制にし、管理すればいいと思います。

■町長 平成27年12月議会にて他議員から文化協会の加入団体に対する公民館等の使用料の無料化等のご質問がありましたので、翌年開催された公民館運営審議会において、「公民館の使用料」についてご審議いただき意見を聞きました。意見は「無料にすべき」という意見と、「施設の維持や光熱費などもかかるのだから、受益者負担は必要」との異なる意見があり、「無料化」という結論には至りませんでした。

対象となるのは、社会教育団体、ボランティア団体、学習団体及び自主グループ活動の団体とし ●公の支配に属さない ●継続的、計画的に社会教育に関する事業を行う ●規約又は会則を有する ●年間予算の大半が社会教育に関する事業 ●主な活動の場所・団体の本拠地を甘楽町内に有す

今回、改めて、無料とするための「社会教



育関係団体」の登録制度や、対象となる団体の認定基準等をお示しいただきましたので、公民館等公共施設の使用料の減額・免除する団体の登録等について検討し、併せて団体の減額、免除についても検討していきます。